

2023年

## 7月のカレンダー

学びの広場

みんなのちからで36年  
 (昨年の9月で36年目を迎えました)

日	月	火	水	木	金	土
						1 人形劇 12~2時
2	3	4	5	6 スタッフ ミーティング 10~1時	7 金曜デイ 10~1時 アート	8 青年の会 10~1時
9	10	11	12	13 スタッフ ミーティング	14 金曜デイ 10~1時 織りもの	15 織りもの 10~12時
16	17	18	19	20 スタッフ ミーティング	21 金曜デイ 10~1時 湧水巡り	22 青年の会 10~1時 アート
23	24 織りもの 10:30~12:30	25	26	27 スタッフ ミーティング	28 金曜デイ 10~1時 ボランティア	29
30	31					
空欄の日にはマンツーマンなど個別の活動をしています。 空いているところに、ご自分の予定を記入してお使いください。						

## 6/10 青年の会 小金井公園

6/16 湧水巡り  
殿ヶ谷戸庭園6月のギャラリーから  
マイ ペイント エコバッグ

★ 学びの広場に入室時、引き続きマスクの着用、手指の消毒をお願いします。また、ご家庭での健康管理にもご協力ください。

学びの広場  
 TEL&FAX 042-322-7160  
 H P <http://manabinohiroba.com/>  
 E-mail [hiroba@pop17.odn.ne.jp](mailto:hiroba@pop17.odn.ne.jp)



みんなの掲示板



Hさん



Nさん おきなわ島のこえ



Yさん



Sさん



立川の壁画から

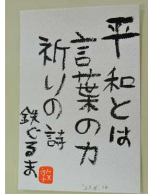
西地下道で

玉川さん他

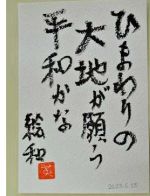


Gさん 喫茶のイベントで

平和の俳句



Iさん



Kさん



「織物」で作ったバッグ

Aさん

私の写真遍歴



今回は築地市場の写真集で有名な山下倫一ともかずさんに文章を寄せて頂きました。次号にも分けて2回の連載です。

山下倫一

「広場」の皆さんこんにちは

昨年予想もしていなかった撮り溜めた写真が「築地市場の人々最後の2年間を撮る」として「国書刊行会」より出版される幸運に恵まれました。

「作品を作る勉強を始めて10年ぐらゐの経験でこのような形で出版されることは大変珍しい」と私の先生からもビックリされました。人生何が起こるか分からないということが実感です。

私は60歳を過ぎてから写真を学び始めました。最初は風景を撮っていました。富士山や桜の名所、夏には涼しげな滝、秋の紅葉、冬の雪景色とずいぶん撮り歩きました。何年か繰り返し季節に応じた風景を撮っていると気持ちの上では何か物足りなさを感じるようになってきました。



64歳の時に、一度見てみたいと思っていた「エベレスト」を見るために、そのビューポイントとされている「ゴク・キョ・ピーク(5360m)までのトレッキングです。ルクラというヒマラヤの入り口の街まで飛行機で行き、ルクラから往復14日間歩きでガイドと二人旅。周りは5000~7000mの山が連なります。抜けるような青空の下、白く輝く山々を見ながらのトレッキング。しかし、素晴らしい光景にも慣れた頃、目に入ったのが大きな荷物を運ぶポーター達の姿でした。ビールやガスボンベ、建築資材やバスタブまで、あらゆる物を運ぶ姿を撮るようになりました。同時に途中の村で会う子供達の光り輝く目に惹かれ、気がついた時にはポーター、子供、村人たちを夢中になってシャッターを切っていました。この時から自分の目指す被写体は人々である、と意識し始めました。



ヒマラヤの写真を見てくれた「広場」の加藤さんより、本人は忘れていたようですが、「これはまとめておいた方が良い」と言われ、思い切って自費出版でまとめてみました。

その本がキッカケで、始めて5年も経たないのに個展を四谷で開催しました。

(次号に続きます)